

## 令和7年度 学校評価中間評価の結果を受けての後期の取組について

領 域	課題の改善に向けた具体的な取組
1学校経営	<p>◇学校評価の中間評価および後期の取組を校内外に周知し、全教職員の共通理解と保護者や地域の方々のご理解とご協力を得ながら、日々の教育活動に精励する。</p> <p>◇様々な教育課題に対し、学年や分掌と連携しながら迅速な情報の共有に努めるとともに、課題解決に向けて適切に組織対応し、教育改革を推進する。</p>
2学習指導	<p>◇観点別評価の在り方を中心に教科間で話し合いを継続する。</p> <p>◇新教育課程を実際に進めるためのシラバスの作成を各教科で進める。</p> <p>◇生徒アンケートの実施と相互参観授業を通して、生徒の要望の把握と授業の改善を行う。</p> <p>◇前期に引き続き、総合的な探究の時間では学び直し教材を使った基礎学力の充実を図る。</p>
3生徒指導	<p>◇遅刻指導について、毎日の校門指導並びに学年団の粘り強い指導により、遅刻者数は昨年度に比べかなりの減少傾向になってきた。このまま継続したい。</p> <p>◇授業規律と身だしなみの重点指導(スマホ指導、頭髮指導・ピアス指導、スカート指導)を引く続き全教員で行う。</p> <p>◇登校時の立ち番において、積極的に校外に出ていく回数を増やし、登校マナーの向上に努める。</p> <p>◇生徒とのコミュニケーションを大切にし、生徒が生活しやすい環境を守り、問題行動の未然防止に努める。</p>
4進路指導	<p>◇3年担任団や他の分掌の教員とも協力しながら、進路決定に至っていない生徒に指導を継続しておこなう。</p> <p>◇三年間を見通して各学年団と協力しながら、体験的な活動も含めた進路行事の充実に努める。</p> <p>◇1年次からの系統的な進路指導の構築を目指し、本校に相応しい進路指導について考えを深め、生徒への働きかけを模索する。</p> <p>◇今年度の進路動向を見極め来年度に向けて進路行事を計画する。</p>
5特別活動等	<p>◇部活動に励んでいる生徒への教育を充実させ、学校のリーダーを担える人材の育成に努める。</p> <p>◇服のチカラプロジェクト、地域の清掃活動、さらにはびわこマラソンのボランティアに参加することで、自己有用感を高めていきたい。</p> <p>◇滋賀県高教研生徒交流会に参加し、他校の生徒会執行部生徒との交流を深め、生徒会活動のさらなる充実を目指す。</p> <p>◇生徒会予算の方針について見直しを進める。</p>
6学校図書館	<p>◇入りやすい図書館を目指し、扉の改修を要望するなど環境整備を行う。</p> <p>◇蔵書の選定や展示の仕方など生徒が本に親しむことができる工夫を継続する。</p> <p>◇学習目的の利用を促し、静かに集中して取り組める環境づくりを進める。</p> <p>◇図書館便りや図書館イベントなど入館者を増やす取り組みを行い、読書への関心を高める。</p>

7保健指導	<p>◇保健室前の掲示板を活用し、心身の健康の保持増進について情報発信する。</p> <p>◇感染症について、情報発信し、罹患や流行の予防に努める。</p>
8人権教育	<p>◇生徒人権委員会でいじめ防止標語ポスターを作成し校内に掲示をする。</p> <p>人権週間に合わせて校内放送をし、人権問題やいじめ防止への意識を高める。</p> <p>◇人権映画鑑賞や人権講演会の内容を精選し、生徒の人権意識を高める。</p> <p>◇教職員への研修を実施し、人権感覚を高める。</p> <p>◇ボランティア活動を活性化する。</p> <p>◇個別の指導計画及び教育支援計画の作成を継続し、次年度および進学先・就職先へ引き継ぐ。</p> <p>◇個別の教育支援計画を有する生徒について、本人、保護者との面談や特別支援委員会を通して支援方法や課題について検討を行う。</p> <p>◇HRや授業において、一斉指導の中でできる支援を行い、教員間での情報共有に努める。</p>
9環境教育	<p>◇教員が掃除の時間を意識して確保するように努める。</p> <p>◇トイレの使用方法やマナーについて、清掃活動などを通じて生徒に働きかける。</p> <p>◇ポスター等を掲示し、校内美化の啓発活動を行う。</p>
10事務・管理	<p>◇施設、設備の状況把握に努め、修理等が必要な場合は迅速に予算措置を行い早急に改善する。</p> <p>◇関係法令に沿った文書の管理、保管を行うことで、情報公開請求があった場合は速やかに該当文書を公開できる体制を維持する。</p>
11その他学校の取組	<p>◇新しく始まる入試を円滑に進めるとともに、受検生や保護者が安心して臨めるよう準備を進める。</p> <p>◇ホームページの更新や情報発信を強化し、本校の教育活動や生徒の活躍など、学校の魅力をより多くの中学生に伝える。</p> <p>◇中学校との連携をこれまで以上に密にし、地域や生徒のニーズをしっかりと受け止める。</p>